

令和5年度第3回小金井市長期計画審議会

日 時 令和5年8月24日（木）午前10時00分～午前11時18分

場 所 小金井市役所本庁舎第一会議室

出席委員 10人

会 長 渡 邊 嘉二郎 委員

職務代理者 萬 羽 郁 子 委員

委 員 天 野 佳 奈 委員 檜 山 渚 委員

木 場 征 夫 委員 小早川 良 信 委員

鈴 木 琢 真 委員 須 藤 吉 章 委員

福 平 恵 一 委員 浅 野 智 彦 委員

欠席委員 5人

田 端 佑 也 委員 高 松 央 介 委員

井 寺 喜 香 委員 出 戸 剛 委員

田 中 千鶴枝 委員

事務局 企画財政部長 水落 俊也

企画政策課長 富田 絵実

企画政策課係長 中島 広樹

企画政策課主任 兼堀 義信

傍聴者 0人

（午前10時00分開会）

◎渡邊会長 ただいまから令和5年度第3回小金井市長期計画審議会を開催いたします。

本日は、田端委員、高松委員、井寺委員、出戸委員、田中委員から欠席という連絡が入っております。現在、委員会の構成15名中10名が出席しております。これは小金井市長期計画審議会条例第5条第2項によって、半数以上で会は成立するという事になっておりますので、この会は成立をしております。

それでは、始めたいと思います。

まず、今日は資料がそれほどないですけれども、事務局のほうから資料の確認をお願いいたします。

◎富田企画政策課長 まずは本日の次第でございます。それから資料1、令和5年度施策評価について（答申）案がA4ホチキス留めの資料となっております。本日配付の資料は以上となりますが、前回までに配付させていただいた資料についても御参考にしていただければと思います。不足などございましたらお知らせいただけますでしょうか。大丈夫でしょうか。

では、渡邊会長、お願いいたします。

◎**渡邊会長** それでは、今日の第1議題である「令和5年度の施策評価について」を議題いたします。

まず始めに事務局のほうから、どう整理したかについてお話を伺いたいと思います。よろしくをお願いします。

◎**富田企画政策課長** それでは、資料1「令和5年度施策評価について（答申）案」をご覧ください。こちらの資料は、前回の会議の中で、長期計画審議会コメントとして掲載したい「キーワード」や「文章」をピックアップしていただく作業を行っていただきましたが、そちらを基に、会長、職務代理、またグループリーダーから御意見をいただきながら、案としてまとめさせていただいたものとなっております。

資料の内容について説明させていただきます。29の施策をそれぞれ「長期計画審議会コメント」及び「意見」という2つの形で整理をさせていただきました。

「長期計画審議会コメント」につきましては、前回ピックアップしていただいた内容を中心に1～3項目に絞り、掲載しております。

「意見」につきましては、「長期計画審議会コメント」に掲載できなかったものを掲載させていただきました。ここには施策に対する御意見や、個別事業に対する御意見に関するコメントとなっております。

また、昨年度は参考資料として「施策評価（質問・その他参考意見）」の資料がございましたが、今年度は、概ね前回の御議論の中で「長期計画審議会コメント」と「意見」に集約できましたので、また、前回ヒアリングを実施しましたことに伴いまして、御質問などについては概ね解消できた部分があったかと思っておりますので、今回はそちらを作成しないことといたしました。

それでは、本日御協議いただく内容の説明をさせていただきます。

資料1の1ページ目をご覧ください。本日は、施策1から施策29までの長期計画審議会コメント及び意見について御確認いただきたいと思います。

本日皆様からいただいた御意見の中で、修正が必要なものにつきましては、そちらを反映したものをまとめさせていただき、微細な文言の修正なども含めまして、最終的な長期計画審議会として答申をいただくものと考えております。

なお、最終的な答申につきましては、本日の会議終了後、本日の御意見などを踏まえ、会長、職務代理及び事務局で調整をさせていただき、最終判断は一任いただきたいと思います。

施策の数も多く、本日お時間の関係もございますので、本日いただいた中で調整が難しい御質問や御意見がもしありましたら、後日の御解答または課題として持ち越しをさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

各施策の確認が終わりましたら、今年度の施策評価の感想や御意見などをお伺いし、来年度の参考にしたいと思っております。

説明は以上となります。会長、お願いいたします。

◎**渡邊会長** 事務局から説明をいただきましたけれども、何か今の説明で御質問があればお願いいたします。よろしゅうございますか。

それでは、本日の主要課題は、黒枠にあるコメントを固めるということで、29の施策について、一つ一つ確認をしてまいりたいと思います。数が多いため、円滑な進行に御協力をお願いいたします。

進行についてですけれども、萬羽委員に長期計画審議会コメントを朗読していただき、それから御意見をいただくという格好で進めたいと思います。

「意見」については、今回は読み上げませんが、御意見があればお願いします。ということで進めたいと思います。萬羽委員お願いいたします。

◎**萬羽委員** それでは、施策1から読み上げさせていただきます。

施策1「みどりと水の環境整備」。

公園環境美化サポーターとの意見交換については、課題の共有と目指すべき「みどりと水の環境」に向け、市民や団体等へ広く周知し、現在参加していない若年層にも伝えていく必要がある。サポーター以外の市民も巻き込みながら、市、指定管理者が広く協働し、繋がりをもった仕組みづくりに努め、さらなる市民協働によるみどりの保全と活用を進めてほしい。

意見の読み上げは省略します。

◎**渡邊会長** この施策1について、何か御意見あるいは御質問があればお願いしたいんですけども、いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

後で思い出したら、また言っていただくということで。それでは施策1については、このとおりということでいきたいと思います。

引き続き、施策2のほうをお願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策2「循環型社会の形成」のコメントです。

3Rに取り組んでいる市民の割合が目標値に達しているため、市民への啓発や環境学習の推進の成果が出てきている。循環型社会の実現を目指し、施策の周知やごみの排出量削減に向けた更なる創意工夫を期待する。

総括については認識相違がなく、評価する。次のアクションとして、実態を現す家庭系ごみ排出量の削減に向けた原因分析が進むことを期待する。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがですか。これについて、御意見、御質問、こうしたほうが良いということがあれば。よろしゅうございますか。はい、ありがとうございます。

それでは、施策3をお願いします。

◎**萬羽委員** 施策3「環境保全の推進」のコメントです。

環境保全に向けた意識は上がっている結果が出ており評価する。総排出量とのギャップに向け、次の目標とアクションプランの設定が求められる。

指標1は受け止め方に個人差があると考えられるため、制度の周知にとどまらず、市民のアクションにつながるような事例の広報などにより、「家庭でできる省エネ行動」をもう少しアピールすることでさらに割合を上げることができると考える。

以上です。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

この件はいかがでしょう。

ちょっと文章上のことで私が気になったのは、1行目で意識が上がっている結果は、上がるという「という」を入れたほうが日本語としてはスムーズかなと思いました。

それから、下から2行目で、事例の広報についてとありますけれども、「事例についての広報」がいいのかなと思って、単なる日本語ですけれども、今朝読みながら、そっちがスムーズかなと私自身は思いました。

皆さんのほうから何かあればお願いします。よろしゅうございますか。

それでは、施策4「市街地の整備」ということで、お願いいたします。

◎萬羽委員 コメントです。

指標1の「小金井らしい魅力的な市街地」の定義を具体的に優先順位をつけて説明したほうが評価をしやすい。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。「市街地の整備」ということで、よろしゅうございますか。ありがとうございます。

それでは、施策5「住環境の整備」ということで、お願いいたします。

◎萬羽委員 コメントです。

指標5は減少したものの、各事業が目標に対して進捗している状況は評価できる。引き続き、各事業を実施し、安全かつ快適で住み心地の良いまちを目指し、取り組んでいただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

私は専門が物を計る計測なもので、ちょっと気になったのが、指標5が減少するというのはないかなと。指標5の値は減少するかなと思って、もしよければ修正していただきたいということです。

委員の方はいかがでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、次、施策6で「都市インフラの整備」ということで、お願いいたします。

◎萬羽委員 コメントです。

「小金井らしい魅力的な市街地」と都市インフラの両立や融合につながる道路設計を期待する。

道路の快適性、管理への評価が下降しているが、都市インフラの進捗状況等を市民に共有することにより、環境の見える化を図り、災害に強いまちづくりを実感してもらうことも重要と

考えられる。

以上です。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

すみません。今朝、早く起きてちょっと勉強してきたものですから、3行目で管理への評価が下降しているとありますけれども、下降というよりも単純に「下がる」でいいのかなと、日本語としてですね。「下がっているが」という言葉ではいかがでしょうか。よろしゅうございますか。

ほかに、委員のほうでございますか。お願いします。

◎**須藤委員** 意見のところの下段、2つ目の意見は私が入れたというか、採用してもらったんですけど、そもそもアンケートの形式が分からないので、もし「はい」「いいえ」の回答以外に、意見を書く場所があるのであれば、この意見の2は削除していいと思うんです。もしそれがなければ入れていただいてもいいと思うんですけど、それが分からなかったので、取りあえず書いておきました。

◎**渡邊会長** 事務局のほうから何かありますか。

◎**富田企画政策課長** 施策評価シートを集計したものについては、コメント欄の中の部分のみが掲載されますが、昨年と同様、答申として、会議として報告いただくというものの資料としては、こちらの意見の部分も付記した形で公表するということになります。

◎**須藤委員** そうじゃなくて、市民の方2,000人にアンケートを取られる、そのアンケートの回答の形式が分からなくて、そこに「はい」「いいえ」で答えて集計をするだけなのか、「いいえ」を答えたときに何かコメントを入れる欄があるのかというのを知らなかったんです。

◎**富田企画政策課長** 回答自体は「はい」と「いいえ」で、その後に全体としての自由意見欄があるというような流れになっております。

◎**須藤委員** 個別にではなくて、全体として。

◎**富田企画政策課長** はい、個別にではないです。

◎**須藤委員** であれば、私の意見2は入れておいてもいいのかなと思います。

◎**渡邊会長** 今の意見も含めて、検討させてください。ありがとうございます。

それでは、施策7で「交通環境の整備」ということで、お願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策7のコメントです。

交通事故死傷者数が増加、アンケート結果が停滞していること、生活実感から良い評価はできなかった。交通対策課だけでなく、市街地や都市インフラの整備と連携した施策を期待する。

電動キックボードやタンDEM自転車等のルール緩和により交通対策の範囲は拡大するため、指標アンケートの目標達成には先回りの対策も必要になると考えられる。

以上です。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

施策7については、何か御意見、コメント、御質問はよろしゅうございますか。

◎**萬羽委員** 意見のところの後退というのも、もしかすると、さっきの「下がっている」とかでも、直接的に言ってしまってもいいのかなと思いました。

◎**渡邊会長** では、そこは用語の統一みたいなことで。

◎**萬羽委員** そうですね。それでもいいのかなと思いました。

◎**渡邊会長** 全体的に用語の統一は事務局で見直してもらおうということで。ありがとうございます。

それでは、施策8の「危機管理体制の構築」をお願いいたします。

◎**萬羽委員** コメントです。

総合防災訓練の実施など、コロナ禍で中止していた取り組みを再開したことは一定の評価ができる。コロナ禍で希薄になったコミュニティの形成や、市民の防災意識の向上に向けて、さらなる啓発や広報等の取り組みを期待したい。

指標1、2については、当初より向上しており、評価する。

防災イベントも必要だが、他のイベントに防災の要素を組み込むことも必要と感じる。「人の輪」をつなげるためには防災だけのテーマでは難しい面もあると考える。

以上です。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

指標1、2について、4行目のところで、指標が向上するというのは変だから、「上がっており」かなと思って、こう直したらいかがかと思いました。

ほかにございますか。

なければ、次は9番のほうにまいりたいと思います。萬羽委員、お願いいたします。

◎**萬羽委員** 施策9「地域の安全・安心の向上」についてのコメントです。

コロナ禍で開催の縮小をしていた消費者啓発事業が通常開催となり、参加者が増加したことで、多くの市民に啓発活動を行ったことは評価できる。

犯罪の手口は変化と集中を繰り返すので、一刻も早い情報提供が必要になると考えられる。市のホームページでも、最新の犯罪事例と対策を公開するなど、関係機関とも連携した犯罪抑止に努めていただきたい。

犯罪は年齢層によって問題も違うため、各年齢層に対応した犯罪発生件数など把握していただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。ちょっと私が気になったのが、萬羽委員も読みにくかったと思いますが、1行目に開催の縮小とあるけれど、開催を縮小した、「を」のほうがいいんじゃないかなと思います。

1つ私自身が理解できなかったのは3行目で、犯罪の手口は変化と集中を繰り返すのでというのが、ちょっと頭の中に入らなくて、多分言いたいことは、犯罪の手口は変化し、犯罪の数は増減を繰り返すということと言いたかったのかなと勝手に推測したんですけども、事務局

のほうから内容的なことを教えていただければ。いかがでしょう。集中を繰り返すというやつが。

◎富田企画政策課長 恐らく、変化をして新たな手口が集中する、というふうに解釈をしておりました。

◎渡邊会長 手口は変化し、新たな手口が集中する。だとしたら、そう入れたほうがいいかもしれませんね。ちょっと理解できなかったの。そういう趣旨でちょっと文言を検討してください。

◎富田企画政策課長 表現は調整させていただきます。

◎渡邊会長 それから、下から2行目、犯罪は年齢層によって問題も違う、問題なのか、犯罪の種類が違うのかということで、問題も違うというのか、種類も違う、種類のほうがいいんじゃないかなと僕は思ったんですけども、いかがでしょうか。

◎鈴木委員 犯罪による被害はとかのほうは、しっくりくるのかなと思ったんですが、いかがですかね。犯罪による被害は年齢によって違うため。

◎渡邊会長 犯罪の被害が。犯罪を犯す人の年齢によって違うということなのかな。

◎鈴木委員 そうか。これは犯罪を起こす側によって。これは加害者のほうを言っているのか、被害を受ける年齢層の方を言っているのか。ちょっと確かにこの文章だと分かりづらいのかなと、思っています。

◎渡邊会長 でも、市のこういうものとしては、「犯罪の被害者は」と入れたほうがいいかもしれないですね。年齢層によって問題、そうするとこれは問題提起ですよ、そのまま。

◎須藤委員 最後の文章、把握していただきたいというのは、把握して対応までしていただくというところを入れたほうがいいかなと思いました。

以上です。

◎渡邊会長 犯罪発生件数などを把握して。

◎須藤委員 把握して、対応していただきたい。

◎渡邊会長 把握して、対応していただきたい。ただ把握するだけではなくてということで。ありがとうございます。

それでは、施策10で「産業・観光の振興」ということで、萬羽委員お願いいたします。

◎萬羽委員 コメントです。

指標1が増加傾向にあるが、この活気をどのように地域で維持、向上させていくか実施方法等を検討する必要がある。小金井市の魅力を市内外に発信し、平日休日問わず多世代が交流できるまちを目指していただきたい。

まちの活気が指標2にどの程度影響があるか注視したい。ポストコロナを意識して、イベントの実施が一時的な賑わいでなく、継続的なにぎわいとなるような工夫・仕掛けを検討していただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。ポストコロナというのが、ウィズコロナなのか、確かにポストコロナになったらにぎわいをちゃんと考えようということだけれども、コロナがまだウィズでもにぎわいは考えなければいけないのかなと思ったりして、ウィズのほうがいいのかなと思ったりしたんですけども、皆さんの御意見はいかがでしょうか。ポストというのは、いつくるか分からないという実態もあるものですから、ウィズでいいのかなと思いました。よろしいですかね。

それから、下から2行目のところで、にぎわいというのが漢字と平仮名がありますので、最初の漢字を平仮名に直したほうが統一されるかなと思います。

ほかに何かございますか。

それでは、次、施策11「都市農業の振興」をお願いいたします。

◎萬羽委員 コメントです。

農業振興計画に基づき、市内産農産物の利用促進や市民農園、地産地消、小金井農業の魅力発信に取り組んでいる。農産物の高付加価値化、ブランディングなどを行い、市内農業者の支援を期待する。

「採れたて」農産物の魅力をアピールすることを検討していただきたい。また、継続購入につながる対策を引き続き検討していただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。表現、内容についてコメント。

◎須藤委員 2個目の意見は、私の意見を採用していただいた内容なんですけれども、私の意見の中では、魅力を数値化してアピールできないかということを入れたんです。これは私の説明不足だったんですけども、採れたて野菜であれば、旨味成分とか栄養素とかがもし高いのであれば、それを数値とかアンケート結果とか、ほかのところから引用してもいいと思うんですけど、そういうのであれば、もう少し地元の採れたて野菜を食べようという意識につながるかなと思ったので、数値化という文字を入れました。なので、ここではいいんですけど、意見の中で、もしそういうことが考えられるのであれば、入れたらどうかと思います。

以上です。

◎渡邊会長 修正としては、数値化してアピールで。

◎須藤委員 というのが、私も調べたわけではないので、数値化できるかどうか分からないんですけど、もしできるのであれば、やったらどうか。数字で見たほうが理解は進むかなと思ったので、採れたて野菜を食べたいと思う意識が向上するかなと思ったので、このコメントの中では要らないんですけど、例えば下の意見の中で、そういったアプローチはできないとか、そういったことを入れたらどうかと思いました。

◎渡邊会長 意見の中で。

◎須藤委員 いいと思います。

◎渡邊会長 そうすることで。確かに数値というのはみんなが共有して理解できる、客観的な

表現ですからね。だけれども、採れたてというのが数値化できるのかとか。

◎須藤委員 例えば何時間経過後にどのくらい落ちるとかというのがあれば。

◎渡邊会長 できますかね。それは意見のところに加えていただきたいと。
ほかにございますか。

それでは、施策12「子どもの育ちの支援」。

◎萬羽委員 コメントです。

課題、指標、評価は適切であるが、指標1の「子どもが育ちやすい環境だと思ふ市民の割合」が前年度より減少していることが懸念である。この指標の減少が、新型コロナウイルス感染症により活動が制限されたことが直接の原因なのか、子どもたちの環境が変わったことによる意識の変化や需要の変化によるところなのかを分析した上で、今後の具体的な施策を立てていただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

この件はいかがでしょうか。私は非常によくできたコメントだなと感心して読んだんですけども。よろしいですか。

それでは、施策13「子育て家庭の支援」ということで、お願いいたします。

◎萬羽委員 コメントです。

施策が多岐にわたるため、子育て家庭への情報をまとめた冊子を作られているので、周知とさらなる活用に努めていただきたい。

2つの指標に関しては前年度より減少しているため、国の施策を注意深く観察し、国からの補助金等を効果的に活用することを念頭に入れるなどの工夫が望まれる。

以上です。

◎渡邊会長 専門上、気になってしまったのですが、3行目で、前年度より減少している、何が、指標だと思ふんですけども、前年度よりも値が減少している。「値が」と入れたほうがより分かりやすいかなと思いました。いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、施策14です。

◎萬羽委員 施策14「子育て・子育て環境の充実」についてのコメントです。

課題、指標、評価は適切であるが、子育て支援ネットワークの最大のネックは活動場所の確保である。小金井市の連携協定先である大学、専門学校等のスペースの活用を考えていただきたい。

新型コロナウイルス感染症の経験で学んだ遠隔方式の繋がりをネットワーキングや行事に活かす工夫も必要である。

以上です。

◎渡邊会長 この件はいかがでしょうか。

ちょっと私が気になったのは、最大のネックと言ったら首のことですよ。問題でいいのか

など。ネックよりも問題のほうがいいのかなと。

それから、若干内容に関わることですけれども、2行目の専門学校等のスペースの活用とありますが、実は施策20のところスペースの問題が出てくるんですね。ここは子育て・子育ての環境ということだから、専門学校の教育力、要するに空間だけではなく、専門学校の先生方の教育力とか、そういうことかなと勝手に思ったりしたんですけれども、スペースはたしか施策21の2項目です。連携協定先である大学や専門学校など、教育機関におけるスポーツ施設の借用について一部開始しているが、可能であればさらなる拡大をしてほしいということで、こっちは専門学校の単なるスペースだけではなくて、むしろ教育力とかそういうことかなと思っただけなんですけれども、この辺の御意見というか、浅野委員、いかがですか。

◎浅野委員 1項目の前段が、活動場所が一番の問題だと言っているのだから、それに対応してスペースの活用というふうになっているんだらうなと思いました。だから、ここはこれでいいのかなというふうに、スペースに限って触れているということかなと思いました。

◎渡邊会長 では、これはこのままということで参りたいと思います。

◎萬羽委員 今のは、私も浅野委員の御意見に賛同するんですけれども、活動場所の確保という面では、連携協定先の大学、学校のスペースだけではなくて、この長期計画としては、例えば空き家の活用とか、何かほかにも市の中でそういう資源があるような気がするのだから、そういう要素も入るといいかなと思っただけで、意見でもいいので、入れていただけたら嬉しいなと。子育て会議のほうでもよくそういう話が出てくるので、思いました。

◎渡邊会長 空き家とか何かの活用ですね。

◎萬羽委員 はい、そうですね。それも含めてというところ、意見のほうに付け足していただけると嬉しいです。

◎渡邊会長 それでは、コメントはこのままにして、ネックは問題にしてもらったほうがいいと思うけれど、意見のところ、それ以外のスペース、空き家等の活用もというのは、意見として入れてもらいたいと思います。

それでは、施策15「学校教育の充実」をお願いいたします。

◎萬羽委員 コメントです。

指標1の目標を100%にしているが、もくせい教室が果たしている役割にも注目すべきであり、指標1の内容を質的に高めることを望む。

コミュニティ・スクール制度の充実、さらには学校家庭連携推進事業の新たな展開に期待したい。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。

ちょっと私が引かかったのは、100%にしている。したわけではなくて、なっているのではないかと思って。「100%になっているが」のほうがいいんじゃないかと思っただけなんですけれども、いかがでしょうか。意識的に誰かが100%にしたわけではなくて、結果としてな

っているということで、そのほうが適切かと思っておりますが、よろしいですかね。

◎**萬羽委員** 目標なので、誰かがしているのかもしれないんですけど、どっちなんですかね。目標なので、どっちなのでしょう。目標というのは誰かが決めているので。

◎**渡邊会長** ごめんなさい。じゃあ、このままです。僕の勘違いです。「目標を100%にしているが」ですね。

◎**萬羽委員** 大丈夫かなと思いました。

◎**渡邊会長** 私のは取り消します。施策16。

◎**萬羽委員** 「学校環境の整備」についてのコメントです。

各学校のバリアフリー化について不十分なところがあれば検討すべきである。また、トイレの洋式化やエアコンなど、子どもが常に使用する設備の整備・充実化は優先度をあげて取り組んでいただきたい。

国策の異次元の少子化対策のもと、市として国や都からの補助金を効果的に活用する努力を継続してほしい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。

◎**浅野委員** 細かいことなんですけど、私が事前に申し上げるべきだったんだろうなと思うのですが、充実化という言葉にやや違和感があって、整備・充実かなと思いました。2行目ですね。整備・充実化ではなく、整備・充実だろうなというふうに思いました。

もう一点は、議論をする余地は多分ないことなので、このままでいいとは思いますが、2項目めの、補助金を効果的に活用するの部分は、多分オリジナルは「獲得する」ではなかったかなと思うんですが、活用するだと大分ニュアンスが変わってしまうと思うんですね。ただ、恐らく、こう変えられたのにはそれなりの事情があってこうなっているんだろうと思いますので、このままでいいと思いますけれども、本来はそういう言葉だったということは一応共有しておいたほうがいいかもしれません。

以上です。

◎**渡邊会長** どうすればいいですか。

◎**浅野委員** このままでいいと思います。多分事情があるんだと思いますので。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

次、施策17「芸術文化の振興」ということで、お願いします。

◎**萬羽委員** コメントです。

指標1は、市民ベースの合唱、絵画、書等々の芸術活動が実際にコロナ禍でも地道に継続しており、近隣市を含めた広域活動になっているケースも少なからずあり評価できる。

指標2は、当初の値は未設定であったが、達成率は順調に増加している。今後、様々な活動を復活し小金井市の品格をさらに上げてほしい。

以上です。

◎**渡邊会長** これはいかがでしょうか。あんまり問題ないような気がしますけれども、よろしゅうございますか。

施策18「国際交流・都市間交流の推進」ということで、お願いいたします。

◎**萬羽委員** コメントです。

市民には国際交流に対する潜在的ニーズは強いものの、きっかけを見出せない状態にあると思われる。そのため社会福祉協議会や市民活動団体を積極的に活用していただきたい。

WITHコロナでインバウンドが大幅に増加している。SNSを活用し、海外の視点から外国人が興味を持つ小金井市の様々な魅力あるスポットを発掘し発信していただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** これは表現ですけれど、WITHだけ英語になっているんですが、日本語がいいかなと思います。よろしいですね。

次に、施策19「人権・平和・男女共同参画の尊重」ということで、お願いいたします。

◎**萬羽委員** コメントです。

啓発事業は地道に継続していくことが肝要であるため、学生や生徒等の若年層を対象とする事業も考えていただきたい。

人権、平和、男女共同参画については継続して取り組むべき事柄である。新たな性差別や性的マイノリティに対しては様々な立場があると思うが、寛容で真摯な意見交換を望む。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。

最初の文章は「肝要である」で切ってしまうでもいいかなと思ったんですけども、「ため」と入れなくても、当然のことだから。文章としてすっきりさせるというかね。これは細かいことです。後で検討してもらおうとして、ちょっと読んでいてそう思いました。よろしいですか。

次、施策20「生涯学習の振興」をお願いいたします。

◎**萬羽委員** コメントです。

これまでの生涯学習は高齢者に偏っていた印象であるが、これからは全世代にわたる生涯学習が求められる時代になった。コミュニティ・スクールの導入により、学校、地域、諸団体のさらなる連携に期待したい。

連携協定先である大学との活動の設計など、各部署における所掌範囲を超えた検討が必要ではないかと考える。

以上です。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

いかがでしょうか。よくまとまっているような気がします。よろしいですか。

それでは、施策21「スポーツの振興」をお願いします。

◎**萬羽委員** コメントです。

コロナ禍の休館を利した、総合体育館及び栗山公園健康運動センターの大規模改修工事は評価できる。それに伴い、一定期間、施設の利用を制限したことが指標の伸びを阻害していることも納得できる。

連携協定先である大学や専門学校など、教育機関におけるスポーツ施設の借用について一部開始しているが、可能であればさらなる拡充も検討していただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 最初の文字、「休館を利した」というのは読みにくかったですね。

◎萬羽委員 「利用」ですかね。

◎渡邊会長 そうですね。コロナ禍の休館期間にくらいでどうですかね。「コロナ禍の休館を利した」は何か難し過ぎるから、「休館期間に」という日本語が読みやすいかなと。いいですかね。

先ほどのスペースの問題との関わりで、ちょっと私が気になったところですが、これでいいかなと思います。

それでは、施策22「福祉のまちづくりの推進」です。

◎萬羽委員 コメントです。

指標1について、困ったときの相談機関は充実しているものの、地域でお互い助け合える共助の目標達成に向けては、地域コミュニティ全体での包括支援体制の構築にまで至っておらず、新たな取組が必要ではないかと考える。

2指標とも目標値には至っていないが、コロナ禍にも関わらず堅調に増加している。今後は、DXの活用などによる業務の効率化を検討していただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 1番目の地域で、萬羽委員も今読むのに引っかけたんだけど、「お互い助け合える」というのは、「地域で互いに助け合える」という表現のほうが日本語としてスムーズではないかなと思ったんですけども、いかがでしょうかね。では、そんな感じで直していただくということで。

◎萬羽委員 すみません、すごく細かいことなんですけれども、2つ目の「2指標」というのは、多分、指標1と指標2という意味だったと思うんですが、ここの並びでこのまま出てくると分かりにくいので、「2つの指標とも」としたほうが、もしかしたら読みやすいと思いました。すみません、細かいことで。

◎渡邊会長 そういうふうにしましょう。

それでは、施策23ですね。

◎萬羽委員 「高齢者の生きがいの充実」についてのコメントです。

本施策とのかかわりで、男性の社会参加がまだまだ少ないと感じる。この手立てを充実させる必要があるのではないかと考える。

社会参加をしたい高齢者に情報がきちんと行き渡るよう、引き続き情報発信のあり方の検討

も含め、本施策に取り組んでいただきたい。

新型コロナウイルス感染症を通じて明らかになった諸事実を分析し、高齢者が必要とする本当の生きがいを見極め、政策に活かしていただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、施策24「高齢者が暮らし続ける仕組みの充実」ということで、お願いします。

◎萬羽委員 コメントです。

対象となる高齢者への総合相談と生活支援等の日常生活レベルでの支援が重要であり、そのなかで介護する家庭への支援も忘れてはならない。これらを踏まえ、最終的には地域コミュニティ全体で支援する体制構築が望まれる。

核家族化が進んでいる現在においては「自助」を支援する質の高いプログラムが必要と考える。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。

私は2番目のやつがちょっと気になったんですけれども、「核家族化が進んでいる現在」と「自助」が直接結びつかなかったんですね。核家族であっても、公助も共助もあっていいのではないかということで。多分自助を望むというのは、高齢者心理、私は高齢者ですけれども、なるべく他人に頼らないで自分自身で何とかやってみたいという心理があるんですね我々は。だから、むしろここは、「高齢者の心理を考え」とか、「高齢者の心理をおもんばかり」とか、おもんばかりというのは考えるという意味ですから、そういうぎりぎり自分で頑張りたいという思いがあるので、そっちのほうの実態に合っているかなと思ったんですけれども、木場委員いかがですか。

◎木場委員 木場です。

結局、施策23と施策24の差異と言っただけなんですけれども、支援の度合いから言うと、施策24のほうが進んでいるわけですよ。一方で、施策23の段階の人たちは、地域参加というのを積極的にやる人たちもいるわけです。あるいは、シルバー人材センターの話で恐縮ですが、働いてお金を稼いでいる人たちもいるわけです。

ところが、施策24の暮らし続ける仕組みというのは、最終的な目標としては、地域コミュニティ全体で助け合うことに向かうわけですが、その前提として、今、渡邊会長がおっしゃった様に、自分でどこまで頑張れるのか、自助努力というところ、これを政策として啓発、広報活動をやっていただくというのが一番のポイントなのかなと。

その中間段階として、いわゆる共助の仕組みである市民団体とか、社会福祉協議会さんが代表ですけども、そういうその間にある団体をうまくつなげていく、活性化する、あるいは活用するという施策が必要なのかなと思います。すみません、雑駁なコメントで。

◎渡邊会長 ありがとうございます。まさにそのとおりで思うし、そういう感じのことがず

っと述べられているかなと思います。

◎木場委員 はい。

◎渡邊会長 そのほかには、自助の形容詞として、核家族化が進んでいるから自助というのが頭の中でつながって。

◎木場委員 分かりますけれどもね。

◎小早川委員 私もここは何でだろうなと思って考えていたんですけども、核家族化が進んでいる現在というのは、要するに、2世帯とかではなくて、もう子どもが独立して違うところに住んでいる、高齢者だけとか、一人暮らしという人が増えているから、一人で暮らしている人の要するに自助ですよ。本人が一人暮らしで全部自分でできるように、何か支援するプログラムが必要であるという意味で、これは誰かが意見を言ったのではなかったかなと記憶している。

◎渡邊会長 あるいは、自助の前の文章はなしでもいいですね。単に「自助」を支援する質の高いプログラムが必要と考えるという。

◎小早川委員 それでもいいのかなとは思いました。

◎木場委員 ありていに言えば、独居の男性の方々が一番のポイントなのですよ、今はね。

◎渡邊会長 でも、私も多分そうなると思うんだけど、ぎりぎり自分で頑張りたいと思うんですよ。あんまりお世話になりたくない。そういう人を何らかの意味でサポートするのは、あったほうがいいかなと思うんですね。

核家族化が進んでいるというのは、子どもが遠方に行っちゃうということですね。だから、我々も夫婦が年を取って一緒に住んでいるとか、一人で住んでいる人とか。これでもいいのかな、直さなくてもね。

◎萬羽委員 もしくは核家族化をもう少し具体的に、高齢者のみの世帯、高齢者の単独または高齢者のみの世帯も増えているのでというふうな言い方にしたらどうかなと思いました。

◎渡邊会長 それでいいですね。高齢者の単独世帯が増えているのでという、こうすると自助というのがつながりますね。ありがとうございました。

◎浅野委員 自助という言葉なんですけれども、これも事前に申し上げればよかったんですが、自助となっているんですが、その後に「質の高いプログラムが必要」となっていて、つまりはこれは共助なんですよ、求められているのは。通常自助は、公助、共助と対比して用いられるので、ここで自助と使ってしまうと、やや概念のレベルが不分明になってしまうところがあるので、趣旨を酌み取るとするならば、この施策24は、もともとの目指す姿は、自立生活の継続ということなんですよ。

◎渡邊会長 そういうことですよ。

◎浅野委員 なので、どちらかという、自助より自立とか自立生活という言葉を入れておいたほうが、趣旨は明確になるのかなと。自立をするためにサポートが必要になって、そのサポートは公助か共助かいろいろあると思いますけれども。

◎木場委員 そういうことですよね。

◎渡邊会長 では、自助というのはやめて、自立するため。

◎浅野委員 自立のほうがいいかなと。すみません。これも事前に申し上げるべきだったんですが、そういうふうに思いました。

◎渡邊会長 では、高齢者世帯が増えているので、彼らがというのか、皆さんが自立できるように支援するという表現にしましょうか。ありがとうございます。

それでは、次、施策25「障がい者福祉の充実」ということで、お願いします。

◎萬羽委員 コメントです。

目指すべき共生社会実現の基本となる障害福祉サービスガイドラインの策定は評価できる。障がいのある方への理解促進のため、さらなる普及啓発の方策を検討していただきたい。

社会資源不足を補うためのネットワーク構築の一環として、相談支援事業所連絡会の定期開催を行ったことは評価できる。

以上です。

◎渡邊会長 つまらないことですがけれども、上では障がいの「がい」は平仮名になって、1行目のところの障害の「害」が漢字になっているので、統一したほうがいいかなというのと、2行目で「さらなる普及啓発」とありますけれども、ここの真ん中に中黒を入れて、「普及・啓発」のほうがいいんじゃないかなと思って。ほかのところでもポツを入れているところがあるんですけども、こちらのほうがいいかなと僕は思いました。いいですか。

◎浅野委員 今のサービスガイドラインは、それ固有名詞としてそうになっているんですよ。

◎富田企画政策課長 固有名詞かもしれないので、確認します。

◎小早川委員 これは多分固有名詞です。市のほうは、全部固有名詞の「障害」という言葉でやっていると思います。

◎渡邊会長 私も固有名詞かもしれないと頭をよぎったんですけども、それを確認して。

施策26「健康の維持・増進」ということで、お願いいたします。

◎萬羽委員 コメントです。

食育の取組に対する指標2の低下は問題である。食育こそフードロス対策、フードドライブ事業と並んで現下において検討すべき課題であり、早急に広報・啓発活動に当たっていただきたい。

各自の健康の維持・増進に本当に必要な啓発活動は行政として可能であると考えられる。

以上です。

◎渡邊会長 これは私の個人的こだわりですがけれども、「指標2の値の低下」のほうがいいかなと思います。そのほうが正確かなと。よろしいですか。

それでは、施策27。

◎萬羽委員 「市民参加・協働の推進」についてのコメントです。

市民参加の必要性や協働の理解が促進されるよう、若年層を含むサイレント層に向けた発信

方法を検討していただきたい。各活動に参加した団体等のフォロー、活動の成果が大きかった事業の調査・研究などを行い、協働事業提案制度に活かしていただきたい。

若者層の市民参加手法の拡充と、オープン化など途中からでも参加しやすい仕組みづくりを期待する。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よくできたコメントだと僕は思ったんですけども。よろしゅうございますかね。

それでは、最後から2番目、施策28「積極的な情報発信」ということで、お願いします。

◎**萬羽委員** コメントです。

市民が求めている行政情報を入手しやすいツールや運用の仕組みを検討いただきたい。

LINEやSNSなどの取組について評価する。解決が困難なテーマであると認識しており、持続的で継続的な広報手段の拡充と見直しを期待する。

今後も情報量が増え続けると考えられる。それに対処する検索機能の有効活用法についても情報として発信し、目標を達成していただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** 2行目の、「解決が困難なテーマであると」がちよっと分からなかった。広報の在り方が難しいテーマなのかなと思ったりしたんですけども、ここの意味がちよっと頭に入らなかったの、ひょっとしたら広報の在り方は難しいテーマであると認識しておりということかなと。広報というのは行政としていろいろな配慮をしなければいけないから、実体を表しているかなと私は思ったんですけども、いかがですかね。

それから、下から2行目の「それに対処する検索機能の有効活用」は、機能というより方法のほうが、検索方法の有効活用、どうやって検索の仕方を学ぶかということでは、方法のほうが適切かなと思ったりしたんですけども、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

お願いします。

◎**須藤委員** 須藤です。3項目の意見は、私の意見を少しアレンジしてもらっているんですけど、1項目と同じような意味で、私は意見として述べたので、1項と3項はまとめて1つにもらったほうがいいかなと思います。

以上です。

◎**渡邊会長** どこですか。

◎**須藤委員** 1行目と4行目、5行目の内容が、私は4行目、5行目の意見を出したんですけども、1項目と同じような内容のつもりで出しているの、1行目と4行目、5行目はまとめて1つの意見としていいと思います。

◎**渡邊会長** そうですね。僕もそう思ったな。では、1項目と3項目を1つの文章にしてしまうということですね。内容的に確かにそうですね。では、そんな格好で、1項目と3項目は1文章にすると。内容は特にいいですかね。

◎須藤委員 はい。

◎渡邊会長 最後になりました。「計画的な行財政運営」についてということで、萬羽委員、お願いいたします。

◎萬羽委員 コメントです。

業務環境の整備やDXによる業務効率化に期待する。アンケートの結果より、最終的に達成したい目的からブレイクダウンした定量的・定性的目標の設定と、設定した目標の背景、ゴールに向かうまでのステップを共有することでさらに効果を発揮できると考えられる。このような取組を検討して頂きたい。

計画や指標はシンプルで誰にでもわかりやすいことが必要と考える。計画は必要な場合、柔軟に見直し、行財政運営を進めていただきたい。

第5次小金井市基本構想・前期基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。

以上です。

◎渡邊会長 施策29はいかがでしょうか。よろしいですか。

さて、これで一応施策の1番目から29番目まで、全体を今、個別的に見ていただきましたけれども、全体として何か今後のことも含めて、今、発言しておきたいということがあれば、お願いしたいんですけども、いかがでしょうか。

◎小早川委員 質問でもいいですか。質問なんですけれども、9ページの施策19の人権のところの一番最後、「寛容で真摯な意見交換を望む」というのは、誰の意見交換を望んでいるのでしょうか。市民に対して望みますと言っているのか、行政に対しての意見なのか、そこが私は分からなかったので教えていただきたいなど。

◎萬羽委員 そこに関連して、私も同じところで、その前の文章が「新たな性差別や」とつながっていて、私の認識では、どんな状況でも、真摯な意見交換をしたとしても、やっぱり差別というものはしてはいけないものなので、そこと寛容で真摯な意見交換というのは、どうつながっているのか私も分からなかったの、ここ全体を教えていただきたい。どういう意図でこうなったのか分かればいいなと思いました。すみません。

◎渡邊会長 これは私が提案した文章だと思うんですけども、要するに、人権・平和・男女共同参画というのは、普遍的な概念としてあると思うんですが、最近、性的マイノリティーの問題とか性差別の問題とかがクローズアップされているために、特にそういうところを無視することなく、活発な取組をしたり、議論をしていただきたいという趣旨で書きたかったんです。

これについてはいろいろな考えをお持ちだろうと思うんです、実は世の中にはね。だから、いろいろな考えがあっても、真摯にこういうことに取り組んで議論することは、どこで議論するというのは問題ですけども、市民レベル、まちとして議論することは重要なこと。要するに、人権・平和・男女共同参画という普遍的なことは、当然、今までどおりやらなければいけないけれども、今、新たに出てクローズアップされているような問題としての性差別とか、性

的マイノリティー、こういう問題もちゃんと受け止めないといけないんじゃないかなということと言いたかったんです。

どういう文章にしたらいいか、ちょっと分かんない。すごくここは表現が微妙なところでして。だから、どうなんですかね。新たにクローズアップされつつある人権問題等についても、真摯に向き合うべきであるというぐらいの文章のほうが穏当かもしれませんね。

萬羽委員、ちょっと言ってみて。

◎萬羽委員 「新たに出てきた人権問題に対しても、真摯な意見交換を望む」ですかね。

◎渡邊会長 「真摯に取り組むことを期待する」くらいでいかがですか。

そうすると、これは行政に対する提案ですから、行政のほうで。

修正文、読んでください。

◎萬羽委員 2つ目の文章です。人権、平和、男女共同参画については継続して取り組むべき事柄である。新たに出てきた人権問題に対しても、真摯に取り組むことに期待する。

◎渡邊会長 そんなところでいいんじゃないですかね。表現としてはそれで。内容的に言うところのこと。

そんなところでいいですか。ほかに。

◎浅野委員 この点では、小金井市は多分、割と先進的かなと思っているんですけども、パートナーシップ制度のあれとか。

◎富田企画政策課長 男女平等推進審議会などは非常に活発です。

◎浅野委員 パートナーシップ制度もやっていませんでしたか。

◎富田企画政策課長 はい。宣誓制度もしていますし、東京都との連携もしているところです。

◎浅野委員 そうですよ。だから、比較的やってきているので、もっとそれを応援するという感じかなと思いました。文案は今のとおりでいいと思います。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

ほかに御意見、あるいは感想でも結構ですけども、あればお願いしたいと思います。

◎須藤委員 先ほどから、平仮名と漢字で表現するところがあって、私が気になったのは「更なる」という言葉で、漢字のところと平仮名のところ、平仮名が多いんですけども、統一したほうがいいかなと思います。

◎渡邊会長 それは組織的に行政のプロに全部直していただくということで、よろしいですよ。我々は気がついたところしかやっていないものですから、それを例題として、全体的に表現の統一をお願いしたいということでもいいかと思います。

今日の主要議題、令和5年度の施策評価についてということで、いろいろ修正というんですか、出していただきました。この議題はこんなところでよろしいですか。

◎浅野委員 すみません。ちょっとだけ全体の枠組みのことで、最初に多分説明があったことだと思うんですけど、この後、これはまずどこに提出されるんですか。議会に出されるんですか。

◎富田企画政策課長 審議会から市長に対して答申していただきます。それ自体をまずホームページなどで公表いたします。

答申書の枠の中に入っている部分が、施策評価シートという、前々回の会議などでお配りした、担当課の各施策や課題が書いてあるシートの中に落とし込まれます。それを、事務事業評価といって個別事業に対し評価したものと一体にして、行政評価という形にまとめてから公表し、それは議会でも報告をします。

◎浅野委員 分かりました。そうすると、まず市長に渡されて、次に議会で事務報告などとして出されるということですね。

◎富田企画政策課長 はい。

◎浅野委員 了解です。ありがとうございます。

◎渡邊会長 議会のほうからは、修正は入らないですね。我々が責任を持って最後までやりましたということで、市長に報告して。議会が議会としてこれに対してコメントがあれば、また別の格好でやってもらう、そういうことになります。よろしいですか。

それでは、今日の2番目の議題で「その他」に移りたいと思います。事務局、お願いいたします。

◎富田企画政策課長 冒頭の説明の繰り返しになりますが、本日、皆様からいただきました御意見につきましては、適宜、会長と職務代理と調整の上、文言を修正させていただきたいと思っております。必要に応じて、担当課のほうに用語の使用方法なども確認の上、まとめていきたいと思っております。最終確認は会長、職務代理、事務局に一任していただき、確定したものにつきましては、後日、皆様にメールなどの形でお送りさせていただければと考えてございます。

次第の「その他」のところにつきまして、来年度の日程について、お知らせをさせていただきます。

現在、委員の皆様は、令和7年1月26日までが任期となっております。それまでに開催する会議は、およそ3回または4回を予定しております。時期としましては、今年度と同様に6月から8月の間に3回開催することを検討しております。内容につきましても、今年度と同様、施策評価に対してコメントをいただく、御議論をいただく予定でございます。

日程調整につきましては、来年になりますので、時期が近づきましたら、事務局のほうから御相談させていただきます。御協力いただけますようによろしくお願いいたします。

また、現在の前期基本計画が令和7年度までの計画期間となっておりますので、来年度から、令和8年度から令和12年度までの後期基本計画の策定に向けた準備の作業が一部始まってまいります。計画のメインの部分については、長期計画審議会といたしましては、皆様の任期満了後、委員改選後の次期審議会で検討していただくこととなります。その前段といたしまして、来年度から市民意向調査ですとか、データブックの作成を予定しております。必要に応じて皆様にも共有させていただき、御意見などをいただきたいと思いますので、コロナなどの状況なども踏まえまして、特段支障がないようであれば、冬頃に1回会議を設けさせてい

ただき、そういったことの御報告ですとか、御意見を伺う場を設けさせていただければと考えております。

こちらについては審議会として、この任期の中で必ず行わなければいけないというものではないので、場合によってはメールなどにより情報を共有させていただき、御意見を伺うように変えさせていただくこともあるかもしれません。そちらは臨機応変に御相談などさせていただきながら、進めていければというふうに考えてございます。

以上でございます。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

日程については、事務局から提案があったわけですが、今年度はこれで終了ということになり、来年度も引き続いて施策の評価を行っていく予定です。

また、次年度から後期基本計画の策定が始まるということでもあります。日程の詳細については、時間も開きますので、事務局ほうから改めて御連絡をいただくということでもよろしゅうございますかね。ありがとうございます。

今年度はこれで終了ということで、この委員会の在り方等について、何かコメントでもあれば伺いたいのですけれども。発言しないで帰るのもなんでしょうから、鈴木委員。

◎**鈴木委員** 今年度参加させていただいて、いろいろな委員の方の御意見を聞けたり、計画自体の目標だとか進捗も知れたので、すごく勉強になりましたし、あと、小金井市に住んでいらっしゃる子育て層だったり、若年層、サイレント層とか、高齢者層の方々が小金井市に住んでいてどういうふうに暮らしていくか、みんなが暮らしやすい社会の実現みたいなどころに向けて話ができたのがすごく勉強になりましたし、それに向けてどういうアクションをしていくかということも含めて、今後考えていく、検討していくことが必要だなと思いました。

とても勉強になりました。どうもありがとうございました。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

須藤委員は今日発言をいただきましたけれども、最後締めで。

◎**須藤委員** 私はこの委員になるまでは、恥ずかしいことなのかもしれないですけど、こういう施策があることすら知らない。もっと市民にアピールする場があっただけいいのかなというのは率直に感じました。

以上です。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

福平委員。

◎**福平委員** 私もこの審議会のメンバーに入れさせていただいて、ずっと小金井市で生活していても、小金井市の魅力が全然分からない、知らないことがたくさんありまして、かつ、それがどういう指標で小金井市のまちづくりを進めていこう、進めていっているということが、ここに入ってそういうことが理解できたので、とてもいい勉強になりました。ありがとうございました。

◎渡邊会長 せっかく勉強したから、今後は小金井市を御支援ください。

◎福平委員 頑張ります。

◎渡邊会長 天野委員。

◎天野委員 私は小金井市に住んでまだ3年になるんですけども、こんなにいろいろな施策がなされているということを不勉強で知らなかったの、とてもいい勉強になりましたし、須藤委員がおしゃっていたように、本当にこういうことをやっているんだよというのは、もっと周知があってもいいなと思いました。

◎渡邊会長 せっかく勉強したから、今後も小金井市をよろしくお願いします。

榎山委員。

◎榎山委員 本当にいろいろなことをやっていらっしゃるなど私も勉強になりましたし、施策によっては自分にはあんまり身近でないことと、すごく自分の実生活に関わっていることというのがあったので、今年度はグループ分けをしてくださって、どちらかという自分自身に身近な施策に評価のコメントを出すというやり方がすごくやりやすかったの、今後どうされるのか分かりませんが、今年度のやり方はすごくやりやすかったですし、意見も出しやすかったように思います。ありがとうございました。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

◎小早川委員 うちも計画をいろいろ作っている関係で、各課がいろいろな計画を作る苦労とか、裏側というわけではないんですけど、そういうのも分かっているとあんまり突っ込みづらいなというのが正直な感想で、すごく市の職員の方が努力していても、なかなか数字に表れない部分とかがあるので、なかなかコメントとかも、こういうことなのかなとかを考えながらしていて、本当にうちも同じように計画を策定して、その進捗を毎回理事会で報告しているので、すごく参考になる部分がたくさんありましたし、来年度以降も率直な意見をなるべく言いながら協力できたら、一緒に何かできることもあるかなと思って、今回参加して、勉強になりました。ありがとうございました。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

木場委員、お願いいたします。

◎木場委員 かねてより伺ってはいたのですが、課題として29項目を挙げて、それをPDCAサイクルで回しているというのは、昔、民間にいたものですから、そういう意味では、非常に頭が下がりますね。

それから、やっぱりデジタル化も進んでいまして、本当にさすが小金井市役所だなと思います。というのは、私どもシルバー人材センターでも、デジタル化は考えてはいるんですけども、何しろ高齢者ですから、ネットを見たことも触ったこともないという方もおいでなので、なかなかその辺は難しいなど。ただ、全国的あるいは都のベースでは、業務についてもデジタル化というのは推奨されていますので、その辺も少しずつ進めていかないといけないのかなど。何しろPDCAサイクルがきちっと回っているというのは、正直驚きました。そういう意味で、

ありがとうございます。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

人生100歳時代ですから、まだまだ青年ですから。大体、我々は還暦で一回りで、2回目の人生で私は今19歳なんですけれども。

浅野委員、お願いします。

◎浅野委員 私も大変勉強になりました。ありがとうございます。

渡邊会長の下で策定のときにも関わらせていただいたので、あのときに作った構想がこういう形で着々と進行しているということが分かって、それがとてもありがたいなと思いました。

前回の会議で、子育て支援に関していろいろと質問をしてお答えをいただいて、その中で、多分ほかの領域もそうなんだろうなと思うんですけど、ちゃんと問題を認識されて、やれることをきちんとやっていらっしゃるなという感じを受けて、とても頼もしく思いました。

あとは、評価をするということが今までなかったんですよ。今回から構想計画について評価を毎年度やっていくということになって、それ自体いいことだと思いますし、ただ、始まったばかりなので、とても手探りの部分はあったと思うんですけども、事務局の皆さんにきちんと枠組みを作っていただいたので、こちらとしてはすごく参加しやすくて、ありがたかったなと思います。ありがとうございます。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

萬羽委員。

◎萬羽委員 私も今回初めて参加をさせていただいて、いろいろな施策があるということもそうなんですけれども、いろいろな立場から御参加いただいている委員の皆様からの意見もすごく勉強になりました。

実際に行政の施策を担当している課に質問するというのも、とても良い機会を得て、ありがたかったんですが、お話をしてみると、本当にどういうことを考えているかとか、私たちの目線に立ってとても真摯に答えていただいたし、それがすごく分かりやすくて納得できたんですけど、一方で、やっぱり文章のやり取りだけの課のところは、どうしても行政同士のやり取りじゃないのにな、というやり取りもやっぱりありますし、普段ももしかしてそういうふうに思っている市民の方も多のような気がするので、こういう機会を持つことによってというか、ヒアリングのありがたい機会のおかげで、とても納得できたり、分かりやすかった部分があったので、行政からは市民の目線に立った回答であるとか、行政同士のやり取りとは違うことを市民としては求めているのかなということも改めて思ったので、今後そういうところも見えたりするといいのかなと、そういう発信の仕方もしていただけるといいなと思ったところです。

以上です。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

事務局のほうからありますか。いろいろ意見が出ましたが。全般を通して、事務局には感謝感謝でしたが。

◎水落企画財政部長 企画財政部長の水落です。本日はどうもありがとうございました。

この酷暑の中、評価をいただいて、非常にいいコメントもいただいておりますので、これから第5次基本構想の将来像の実現に向けて、全庁で共有をさせていただいて、こういったコメントや御意見を参考にさらに取組を進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

須藤委員からも、公表とか情報発信ですかね、ここら辺についての御意見をいただいております。小金井市は情報発信が非常に苦手なところがあって、課題だなと思っているんですけども、そこら辺も含めて、今回の基本構想の中にも情報発信についてはうたわせていただいております。

今の市長は、情報発信について非常に長けている人なので、市長からの意見もいただきながら、一生懸命、情報発信にこれからも努めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

◎渡邊会長 最後に私から。

今日、何もコメントがなしで終わってしまったらどうしようかとちょっと心配して、用語のちょっとしたところだけでも見ておこうと、いろいろやらせていただきました。

最後の会でしたけれども、皆さん、すごく内容的にしっかりしたコメントをいただいたと思っております。この半年間でしたか、1年間でしたか、皆さんの御協力の下で、今年度の分は無事に終わったということで、皆さんには心から感謝を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。

それでは、議論も尽きたと思いますので、この辺で、今日の会を閉じたいと思います。ありがとうございました。

(午前11時18分閉会)